



□□□ 北海道釧路湖陵高校 令和2年度SSHが本格的に始まりまして □□□
「失敗を恐れずに、いろいろなことにチャレンジしよう！！」

題名：「主体性、創造性、国際性を育成するコンピテンス基盤型教育の研究開発」
～将来のイノベーションを実現可能にする資質をもった世界に貢献できる科学技術人材の育成～

新型コロナウイルスの影響で休業が続いていましたが、6月から学校が再開され徐々に通常の学校生活に戻ってきており、それにつれて2期3年目のSSH（5年間のうちの3年目）も本格的にスタートしました。この通信では、SSHの取組をより知っていただくことを目的に発行していきます。

2期目の柱は、**主体性、創造性、国際性**を身につけるための取組を行うことです。

主体性、創造性、国際性を身につけるために、3年間の高校生活で何をすべきか？

「〇〇のような取組をすれば良い。」という**答えはどこにもありません。**

生徒の皆さんとともに、考えて、やってみて、失敗したり、成功したりしながら、湖陵高校全体で探究していきましょう。

1. 3本の柱…主体性・創造性・国際性

身につけるために必要な資質・能力とは？

	資質・能力	→	もう少し具体的な力
主体性	<ul style="list-style-type: none"> 目的と使命感をもって物事に取り組む力 リーダー性をもち他者と協働する力 失敗を恐れずにチャレンジする力 		<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を設定する力 計画的に課題解決に取り組む力 課題解決のために自ら行動する力 課題解決に必要なスキル 振り返って改善策を考える力 他者と協働して物事に取り組む力
創造性	<ul style="list-style-type: none"> 知的好奇心と感受性 未知の領域に気づく力 未知の領域にチャレンジする姿勢 新しいアイデアを生み出す力 		<ul style="list-style-type: none"> 自らの興味・関心に執着し、持続する力 物事に集中して取り組む力 プロセスから課題に気づく力 拡散的思考力
国際性	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解を深め、自らの考えをもつ力 異なる文化や価値観を寛容する姿勢 国際的な場面に挑戦する力 		<ul style="list-style-type: none"> 自らを育んだ自然環境に関する知識 異なる文化や価値観に関する知識 自らの考えを日本語及び英語で伝達する力 科学英語力

2. 土台…強固な体系的知識

すべての教科・科目の授業を通じて、主体性、創造性、国際性の土台となる、**分野を超えた広がりのある強固な体系的知識**を身につけよう。

資質・能力	→	もう少し具体的な力
<ul style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ力 自らの変容を客観的に評価する力 学びのプロセスを主体的に構築する力 自分自身を理解する力 		<ul style="list-style-type: none"> 体系化された基本的な知識 情報を収集し、処理する力 論理的に思考する力 多領域にまたがる事柄を統合する力 自らの考えを表現する力

3. 突き抜けよう！！…E(Expansion)プラン

君たちが提案する、主体的な研修計画や外部発表を実現するプログラム。

「一生懸命探究したこと」、「科学への熱い思い」を実現する。 → 詳細はこの後の通信で。



E(Expansion)プラン

- 【生徒が立業する高度なプログラムの支援】
- 大学、研究機関との共同研究や高度な内容の研修
- 学会発表や国際シンポジウムへの参加
- 各種科学系コンテストへの挑戦等

将来のイノベーションを実現可能にする資質を持った
世界に貢献できる科学技術人材の育成

主体性・創造性・国際性を育成するコンピテンシス基礎型教育の研究開発



大学・研究機関等

地方自治体・民間企業等

【国際性】

『異なる文化や価値観を寛容する姿勢をもち、国際的な場面に挑戦しようとする行動力と語学力を身に付けた生徒』

- ◆科学系部活動の取組
- ◆普通科・理教科 共通の取組
- ◆アクション(行動と挑戦)
 - ◆北海道東部の自然環境と世界を結ぶ取組等
- ◆スキル (語学力)
 - ◆英検、TOEFL の目標設定
 - ◆授業研究・教科間連携・マイプロジェクト等
- ◆マインド(理解と寛容)
 - ◆「長倉(フオジャーナリスト)WSJ」
 - ◆サイエンスダイアログ
 - ◆JICA研修生との交流
 - ◆ラムサール(イラン)高校生との交流
 - ◆釧路温泉巡検

【創造性】

『論理的、多角的で柔軟な思考によって、新たな価値を創造することができる生徒』

- ◆理教科の取組
 - ◆多角的に知的好奇心を刺激するプログラム
 - ◆「課題研究」自らの興味・関心に基づいて設定した研究テーマで探究活動
- ◆普通科の取組
 - ◆「総合的な学習の時間」で行う探究活動
 - ◆SS・KS科目の授業内で行う探究活動

【主体性】

『自ら課題を設定し、周囲と協働して課題解決に取り組むことができるリーダー性を身に付けた生徒』

- ◆理教科の取組
 - ◆「探究のプロセス」を複数回繰り返すプログラム
 - ◆課題解決能力を育成するプログラム
 - ◆「課題研究」自らの興味・関心に基づいて設定した研究テーマで探究活動
 - ◆「科学英語」: 課題研究の日本語論文・英語論文の作成
 - ◆英語口頭発表会
- ◆普通科の取組
 - ◆「総合的な学習の時間」で行う探究活動
 - ◆SS・KS科目の授業内で行う探究活動

- ◆「コア・コンピテンシー」
 - 自ら学ぶ力
 - 自らの発想を客観的に評価する力
 - 学びのプロセスを主体的に構築する力
 - 自分自身を理解する力
- ◆すべての教科・科目：教科間連携及びアクティブ・ラーニングの手法を活用した授業
- ◆特別科学講演会：「芸術と科学」「日本文化と科学」「オーガナと科学」「落語と科学」等

地域の小・中・高校への
成果普及, 情報共有

検証

連携

JST

北海道立教育研究所附属理科教育センター

外部評価委員会